

政 策 部

総合戦略課

課長 近藤 潔

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	総合戦略課	課CD	02120000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	民間企業との共創促進事業
-------	--------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	10	意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み			積極的な民間との連携と、未来への投資
基本施策(個別目標)	522	商業の振興	5つの重点目標	3	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略			新しい働き方・雇用の創出

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	民間企業との共創促進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H30 ~

包括的連携協定に基づき、民間企業との共創による新たな事業創出を検討することによって、行政と民間企業との共創の仕組みを整える。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 取組内容	松本市の政策課題と協定締結企業のビジネスリソースのマッチングにより、事業創出分野を選定 担当課を交え、事業化の方向性を決定 支障事案の対応方法の整理など、実施サポート体制を整備
2 検討会の開催	連携報告会の開催(1回)、事業創出検討会の開催(1回) 業創出検討打合せ会(5回)、企業の研究施設の視察(2回)
3 設定分野(累計)	木質バイオマスの地産地消化 松本農産物のブランド化 スポーツビジネスの振興 防災ラジオの導入 歯科・口腔の健康づくり センサー技術の活用
4 取組みの成果	松本農産物のブランド化に向けた販売会の実施 協定締結企業傘下の中高価格スーパーでトライアル販売会を実施した。 ア R元.10.4~5 九州屋 名古屋名鉄店 松本健康野菜の販売 イ R元.11.16~17 九州屋 新宿小田急ハルク店 奈川特産品の販売 生活習慣病予防に向けたAGEsセンサーの導入 協定締結企業が開発した、生活習慣病の予防に活用できる測定器2台を松本ヘルスラボを通じて購入し、健康づくり課、松本ヘルスラボで健康づくり事業等に活用

< 現状に対する認識 >

・民間との共創を専門的に担う組織(部署)が設置されている他市の例も参考に、民間企業からの提案にスピーディーに対応できる部局横断体制の整備を研究する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事業創出分野の設定数(累計)				
指標の設定理由	設定した創出分野に基づき事業化の検討を行うため				
目標値			5	6	7
実績値			4	6	
達成度			80.0%	100.0%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)			108	100	100
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源			108	100	100
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規			1,510	0.2	1,520
嘱託			0	0	
合計コスト +	0	0	1,618	1,620	100
前年度比	-	-	-	100.1%	-

事務事業評価票

事務事業名	総合計画策定事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	総合計画策定事業費

部局名	政策部	課名	総合戦略課	課CD	02120000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度 R1 ~ R2

松本市総合計画(基本構想2020及び第10次基本計画)の計画期間が令和2年度に満了となるため、新たに「基本構想2030」及び「第11次基本計画」を策定する。
本市の最上位計画として、市民意見を十分に聴取し、市民にとって見やすく、わかりやすい計画とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 第10次基本計画の進捗状況の検証
庁内各部局と連携して、現行計画の進捗状況の検証を実施
- 市民意見の把握
市民意識調査
無作為抽出した市民2,700人(18歳以上の市民2,400人、高校生300人)を対象に生活の満足度や今後重視すべき取組み等についてアンケート調査を実施(回収率43.7%)
公共施設での意見募集
市内8カ所において、まちづくりなどの方向性、松本市の魅力や強み等について意見を募集する掲示スペースを開設(意見数203件)
Webページでの意見募集
特設Webページ「松本未来会議」を開設し、まちづくりなどの方向性、松本市の魅力や強み等を募集(意見数59件)
市民ワークショップ
対象年代・テーマを変え、ワークショップを4回実施(参加者計67名)(大学生、松本市近郊に就職した20代~30代、全年代(2回))
- 基礎調査の実施
市民満足度調査の経年分析、行政評価の経年分析、人口推計、各種統計調査を基にした分析等を実施
- 先進地視察
人口規模など、本市と類似する2市を視察(吹田市、寝屋川市)
- 総合計画策定庁内委員会の設置・開催
計画策定の進捗管理、計画案の策定を行う庁内委員会を開催(2回)

< 現状に対する認識 >

・市の最上位計画として、計画期間である令和2年度末までに策定する必要がある。
・将来世代(フューチャーデザイン)、地方創生、SDGs、ユニバーサルデザイン、ICT化の進展など、時代に即した視点を取り込む必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市民ワークショップ、懇談会の開催回数				
指標の設定理由	計画策定の基本的考え方である、市民意見を反映した計画とするため				
目標値				4	4
実績値				4	
達成度				100.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				5,258	1,520
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源				5,258	1,520
人件費(千円)				4,560	人工
正規				4,560	0.6
嘱託				0	
合計コスト +				9,818	1,520
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	総合戦略課	課CD	02120000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ユニバーサルデザイン推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

誰もが安全で、安心して暮らすことのできる「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進するため、行政、市民、民間団体、事業者等が協働して、ユニバーサルデザイン(UD)の考え方の普及を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の開催
外部委員による、市実施事業に対する意見聴取
- 広報まつもと特集号による啓発
広報11月号へ特集1ページの掲載
- 啓発パンフレットの発行
配布先:市内全公立小学校4年生(2,200部)
- 一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会への支援
補助金 600,000円
- ユニバーサルデザイン学習会等
沢村児童センター
令和元年8月6日(水) 10時~11時
参加者数 児童:73名 職員:4名
島内児童センター
令和元年8月23日(金) 14時30分~15時30分
参加者数 児童:140名 職員:6名
新任町会長研修会
令和元年7月19日(金) 13時~13時30分
参加者数 約150名

< 現状に対する認識 >

かねてから推進会議において、出前講座の実績がないことについて、意見があり、今年度は政策課職員による学習会として、2地区の児童センターへ依頼をし、学習会を行った。
・学習会の結果、低学年から高学年及び職員の方が参加され、低学年層でも理解されることがわかった。学習会による効果は大きいと考えられることから、引き続き学習会を調整していきたい。
・特定の高校ではUDの学習をしているので、他校へも取組みを周知していきたい。
・普遍的な考え方として、ユニバーサルデザインを新たに策定する総合計画への位置づけを検討

総合評価

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	1,026	876	771	642	840					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,026	876	771	642	840					
人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,795	1,635	1,540	1,402	840					
前年度比	-	91.1%	94.2%	91.0%	-					

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	新庁舎建設事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	10	意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
主な取組み			○新市役所庁舎の検討
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	新庁舎建設事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28 ~ R8

老朽化、狭隘化等の問題を抱える現庁舎を建て替えることで、将来にわたり、来庁者や職員の安全安心を確保するとともに、継続して行政サービスが提供できる環境を整える。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 新庁舎建設基本計画の策定
新庁舎の設計条件となる、基本計画を令和2年2月に策定した。基本構想に掲げる「基本的な考え方」の実現を図るための方策として、「新庁舎のあり方・導入機能」や、新庁舎の規模や概算建設事業費、スケジュールなどを定めた。
概算面積:23,000㎡程度 概算建設事業費:169億円 竣工予定:R8年度中
- 検討経過(括弧内は通算開催回数)
(1) 庁内検討
庁内委員会の開催(20回)
(2) 市民意見の聴取
市民の意見や提案等を丁寧に聴取するため、市民懇話会等を開催
ア 市民懇話会(11回)
イ 市民説明会(18回(参加者延べ285名))
ウ 市民ワークショップ(5回(同 113名))
(3) 議会協議
市議会新庁舎建設特別委員会に検討内容や市民意見等について逐次報告や協議を重ねている。(基本計画策定までに計7回)
- 事業用地の取得状況
事業用地内民有地地権者10名の内、3名はR元年度内に売買契約締結
- 庁舎建設基金の積立
元年度積立額:1,002,721千円(基金現在額:3,406,521千円)

<現状に対する認識>

- ・検討の各過程において、市民説明会や市民懇話会を数多く開催し、市民参加型で新庁舎建設事業を進めることができています。
- ・これまでの検討経過を踏まえた上で、事業用地の譲渡をお願いしている地権者に寄り添って事業を進める必要がある。
- ・全庁的な協力とともに、専門的に事業に取り組む推進体制の整備が急務

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	新庁舎建設事業進捗率				
指標の設定理由	事業の進捗状況をもって測定できるため				
目標値	9.1%	18.2%	27.3%	36.4%	45.5%
実績値	9.1%	18.2%	27.3%	36.4%	-
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,000,000		1,001,907		405,802		1,042,580		331,790	
国・県										
利用者負担金										
その他(起債)									253,700	
一般財源	1,000,000		1,001,907		405,802		1,042,580		78,090	
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,690	人工	15,200	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,690	1	15,200	2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト①+②	1,007,690		1,009,497		413,492		1,057,780		331,790	
前年度比	-		100.2%		41.0%		255.8%		-	

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	総合戦略課	課CD	02120000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	行政評価事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	行政評価事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H14 ~

市が実施する各施策・事務事業に対する行政評価や、市民満足度調査によって成果目標や進捗管理指標の達成状況を把握することで、第10次基本計画の着実な推進を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 内部評価(庁内評価)
全事務事業を対象に内部評価を実施
- 外部評価(市民評価)
市民評価委員(17名)と有識者(3名)を委員とし実施
市民懇談形式での委員会を実施し、市民目線の客観的な意見を聴取
4月13日、5月19日、6月2日の3回実施(初回は説明会)
主な意見
ア 「事業の実施内容」が具体的に記載されていない事業が一部あり、分かりにくい。
イ 1つの事務事業評価票の中に、内容の異なる複数の事業が含まれていると、個々の事業の実施内容や費用が分からない。
ウ 「成果指標」が、「事業の狙い」と直接結びつかない事業がある。
エ 「現状に対する認識」で、今後の取り組みの方向性が示されていない。
- 行政評価システム検討専門部会(行政評価の手法等を検討する庁内組織)開催

< 現状に対する認識 >

- 平成29年からの3か年で実施した外部評価(市民評価委員会)で、全施策の外部評価が終了できた。
- 次年度は、これまでの方法は継続しつつ、分野を変えて実施していく。
- 内部評価、外部評価の結果は実施計画へ取り入れているため、PDCAサイクルが図られている。
- 新たな総合計画を策定することから、今後、行政評価の手法について検討する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	外部評価実施基本施策数				
指標の設定理由	事業の進捗状況が直接的に把握できるため。				
目標値	-	14	28	56	-
実績値	-	14	28	56	
達成度	-	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	2,440	2,876	2,598	265	2,920					
国・県										
利用者負担										
その他										
一般財源	2,440	2,876	2,598	265	2,920					
人件費(千円)	769	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,280	人工		人工
正規	769	0.1	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	3,209	5,153	4,863	2,545	2,920					
前年度比	-	160.6%	94.4%	52.3%	-					

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	総合戦略課	課CD	02120000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	「健康寿命延伸都市・松本」の創造事業
-------	--------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にするまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	「健康寿命延伸都市・松本」の創造事業費

< 事業の狙い >	事業計画年度	H21～R2
松本市の基本理念である「健康寿命延伸都市・松本」の創造を全市をあげて推進していくにあたり、本事業では、周知・啓発や官民一体となった協働の場を設ける取組みによって、「健康寿命延伸都市・松本」の普及を図る。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >
1 「健康寿命延伸都市・松本」の創造協議会の開催 創造協議会を年3回開催し、松本版地方創生総合戦略の検証や取組み等に関する協議を実施 ・市内各団体の代表や有識者22名で構成 (「子ども」や「若者」等に関する分野の有識者を追加) ・新たに就任した若い世代の委員からの発表と委員間の意見交換を実施
2 PRの取組み 「健康寿命延伸都市・松本」の更なる普及のためPR活動を実施 ログマークが印刷されたピンバッジの販売(販売数522個) PR用リーフレットによる広報 市役所本庁舎前への旗掲揚や松本駅お城口への横断幕掲出
3 市民との協働(まつもと市民会議) ・昨年度の実施内容をより具現化するため、継続的なワークショップを開催 健康をキーワードとした拠点づくり(市街地ウォーキングコース) 隙間・空き地と人を繋ぐデザイン(空き地や空き家のデザイン) 遊び心地の良い賑わいの拠点づくり(商店街音楽祭) 3つのワークショップからの提案を現場に移し、女鳥羽川を中心としたフィールドワークを開催 ・市も実行委員会構成員として参加し、負担金を支出して支援

< 現状に対する認識 >
・「健康寿命延伸都市・松本」の取組みは、他市町村や企業、大学からの視察希望も多く、全国的にも注目されています。市民等への浸透が一定程度図られてきたことから、周知・啓発の進め方の見直しが必要 ・まつもと市民会議は、H29年のテーマ出しから、テーマごとのワークショップを開催し、本年度には各ワークショップからの提案を現場に移したフィールドワークを実現させた。市民主体による一定の形が出来たことから、市の関与については見直しを図る。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市の暮らしに満足している市民の割合(%)				
指標の設定理由	第10次基本計画の全体目標				
目標値	更なる上昇	更なる上昇	更なる上昇	更なる上昇	更なる上昇
実績値	88.4%		91.8%	86.0%	
達成度			達成	未達	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	585	3,767	1,605	1,410	660
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	585	3,767	1,605	1,410	660
人件費(千円)	1,823	1,807	1,805	1,818	
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510
嘱託	285	0.1	289	0.1	295
合計コスト +	2,408	5,574	3,410	3,228	1,714
前年度比	-	231.5%	61.2%	94.7%	-

事務事業評価票

事務事業名	県営空港対策事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	県営空港対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H23～

・運航会社等への支援を通じて、県内唯一の空の玄関口である信州まつもと空港を活用した観光振興、地域活性化を進める前提となる、航空路線の維持を図る。
 ・騒音等の影響がある空港地元地区住民の、空港に対する理解醸成を図る。
 ・空港発展に向けた取組みにつなげるため、航空行政の知見の収集を行う。
 ・地元対応等へフィードバックを行うため、全国の地方空港の事例を研究する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- ネーミングライツ事業
 フジドリームエアラインズ(FDA)の機体にロゴ・キャラクターを掲出(R元に機体掲出デカールを愛称にちなんだデザインに更新)
- スポンサー支援事業
 地元企業・団体がスポンサー事業を活用した広告・宣伝事業を行う経費を支援(スポンサー企業による支援企業数 4社)
- 地元対応
 地元地区の地域振興策等への対応及び地区空港対策委員会へ交付金の交付による地元理解の促進
 ・地元地区空港対策委員会総会、連絡会への参加 2回
 ・交付金 500千円
- 全国民間空港市町村協議会への参画
 ・空港フォーラム、事務担当者研修会への参加 2回
- 既存路線の拡充、新規路線開拓事業
 県の方針に基づき、既存路線の拡充の他、国内、国際チャーター便の新規路線等について、運航会社等と調整、要望、令和元年度に、新たに神戸線が就航した。また、夏季便として、札幌丘珠線や大阪線も引き続き運航された。

< 現状に対する認識 >

・事業を通じて、運航路線維持が図られている。
 ・航空会社や空港地元地区と良好な関係を築くことができている。
 ・ただし、ヘリコプターの騒音等の増大や、進入方式の変更、滑走路端帯の延長、発着枠の逼迫化など、空港を取り巻く状況は日々変化していることから、地元とともに、県に対策を求めていく必要がある。

部局名	政策部	課名	総合戦略課	課CD	2120000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み		信州まつもと空港の国際化や機能強化の研究
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	信州まつもと空港定期便数(便/日)				
指標の設定理由	路線の維持・拡充の状況を直接的に測定できるため				
目標値	6	6	7	7	7
実績値	6	6	6	8	
達成度	100.0%	100.0%	85.7%	114.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	20,748	20,492	19,505	21,151	21,570
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,748	20,492	19,505	22,240	21,570
人件費(千円)	1,538	1,518	1,510	1,520	
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	22,286	22,010	21,015	22,671	21,570
前年度比	-	98.8%	95.5%	107.9%	-

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	総合戦略課	課CD	2120000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	クラウドファンディング活用促進事業
-------	-------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	10	意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	主な取組み			積極的な民間との連携と、未来への投資
基本施策(個別目標)	511	創業・事業承継支援の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
			松本版総合戦略			新しい働き方・雇用の創出

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	クラウドファンディング活用促進事業費

< 事業の狙い > 事業計画年度 H30 ~ R1

民間業者の投資型クラウドファンディング活用を支援することで、松本市が有する産業創発力のポテンシャルを発現させ、「健康寿命延伸都市・松本」の創造につながる「経済の健康」づくりを推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 事業の周知及び活用の斡旋
 セミナーにおける周知
 市主催セミナー及び33GAKU創業支援セミナーにおける事業の周知を行った。(参加人数計: 25名)
 市内金融機関及び商工会議所との連携による事業の斡旋
 ア 包括的連携協定を締結している金融機関に対して、取引先への事業活用の斡旋を依頼した。
 期間中に6回打合せを行い、斡旋状況の確認、事業者の動向、事業活用に対する課題等について協議を行い、事業者へのアプローチを強化した。
 イ 商工会議所に対して、会員への提案を依頼した。
 事業周知用ポスター・チラシを活用した周知活動
- 投資型クラウドファンディング組成を業務委託
 投資型クラウドファンディング募集サイト運営業者に3件の組成を委託
 【主な委託内容】・事業案の事業性審査及び磨き上げ
 ・ファンド設計及びコンサルティング
 ・ファンド募集サイト上のWebページ作成
- 申請事業に対する審査の実施
 松本市の政策理念との整合等を審査した。(2件)
- 組成件数
 2件(温泉旅館の再生、食品加工・販売業の事業拡大)
- 事業を活用した事業者の声
 「返礼品の発送等を含めた資金調達コストは、金融機関から融資を受けた方が安上がり。全国に自社事業をPRできる点が魅力」

< 現状に対する認識 >

・金融機関との定期的な打合せの場を設け、金融機関を通じた事業者へのアプローチを強化した結果、昨年度を超える2件の組成ができたものの、目標の3件には届かなかった。
 ・要因としては、低金利で金融機関の融資を受けることが可能な点が考えられる。
 ・現状の低金利下では、クラウドファンディングを活用するメリットが、宣伝(ファンづくり・広報)効果に限られ、宣伝効果とコストを比較した際に、本支援事業を活用する理由が弱いことから、事業実施を見直す。

< 指標の達成状況 >	総合評価		A		
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
成果指標(指標名)	活用事業者発掘に向けた金融機関との連絡会議件数				
指標の設定理由	金融機関から事業者に対する斡旋活動の進捗を確認する活動を測れるため				
目標値			3	4	
実績値			2	6	
達成度			66.7%	150.0%	
成果指標(指標名)	活用事業の件数				
指標の設定理由	事業の直接的な結果を測定できるため				
目標値			3	3	
実績値			1	2	
達成度			33.3%	66.7%	

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)			1,661	2,319		
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源			1,661	2,319		
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工	
正規			1,510	0.2	1,140	0.15
嘱託			0	0		
合計コスト +	0	0	3,171	3,459		
前年度比	-	-	-	109.1%		

事務事業評価票

事務事業名	新九州戦略推進事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	新九州戦略推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H30 ~ R1

新たな九州戦略事業の取組みとして、九州に本拠地を置くプロ野球団「福岡ソフトバンクホークス」を活用し、観光需要以外の別の切り口で幅広い世代向けに信州松本の魅力を訴求し、交流人口の拡大を図るもの。
また、松本でのホークス公式戦の実現を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容
概要
福岡県内ラジオ局でのホークス応援番組内で、松本市の宣伝を実施
目的
ア 福岡地区のプロ野球ファン層に対し、松本の魅力をPRすることで、新たな層・幅広い世代の交流人口の拡大を図る。
イ 公式戦開催に向け、松本への親しみ感の醸成を図る。
また、ラジオ放送内容を観光大使を通じ、球団関係者へ伝えることで、球団
に対しても松本の動きを知る機会とした。
実施時期
ア 期間
平成30年度及び令和元年度(2年間)
イ ラジオ局
RKBラジオ(福岡県内AMラジオ局)
聴取可能人口1255万人、世帯527万世帯(九州北部～中国地方西部)
ウ 放送回数・時間
公式戦シーズン中の6カ月 計6回 各5分

< 現状に対する認識 >

・到達目標として設定した公式戦の開催は、九州以外の地方都市では現実的に厳しい状況を確認
・したがって、令和2年度以降の事業廃止を含めた見直しが必要

部局名	政策部	課名	総合戦略課	課CD	02120000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み			シティプロモーションで松本の魅力を発信
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略			高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	プロ野球公式戦の実現				
指標の設定理由	九州北部のプロ野球人気に着眼し、新たな切り口で幅広い世代の交流人口拡大を図るための到達目標として設定				
目標値		事業検討	現地ラジオPR	現地ラジオPR	方向性見直し
実績値			実施	実施	
達成度			100.0%	100.0%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)			972	972		
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源			972	972		
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工	
正規			377.5	0.05	380	0.05
嘱託			0	0		
合計コスト +	0	0	1,350	1,352		
前年度比	-	#DIV/0!	#DIV/0!	100.2%		

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	総合戦略課	課CD	02120000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	国際交流推進事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	国際交流推進事業

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	904	松本の魅力発信力の強化

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
市長公約	主な取り組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民参加による、姉妹・友好都市との交流を進めるとともに、誘客やまちづくりの推進の上で有望な都市との交流を進め、交流人口の増加に繋げるものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- アメリカ・ユタ州・ソルトレークシティ(1958年(S33)11月29日提携)
・5周年ごとに公式訪問・受入れ(次回 R5 予定)
・隔年 中高大学生ホームステイプログラムを実施 (R元 中止)
- ネパール・カトマンズ市(1989年(H元)11月17日提携)
・5周年ごとに公式訪問・受入れ(R元)
提携30周年記念公式訪問団派遣 (R元11月実施 19人)
カトマンズ市長表敬訪問、記念柔剣道大会の開催、学校訪問
・公式訪問団受入れ(R2 延期予定)
- 中国・河北省・廊坊市(1995年(H7)3月21日提携)
・5周年ごとに公式訪問、受入れ(R2 延期予定)
・廊坊市友好都市中学生卓球交歓大会に、市内中学生選手を派遣(R元7月実施 8人)
- スイス・ベルン州・グリンデルワルト村
(1972年(S47)4月20日(旧安曇村提携)・2005年(H17)5月16日交流継続合意)
・5周年ごとに公式訪問・受入れ(次回 R4 予定)
・3年周期で中学生ホームステイ事業を実施(派遣翌年受入れ)
グリンデルワルト村中学生ホームステイ受入れ(R元5月実施 30人)
- 松本留学生応援ファミリーの会事業(1989年(H元)設立)
・市内在住留学生と市民との交流事業を実施
歓迎会、市内バスツアー、スピーチコンテスト等を実施

< 現状に対する認識 >

海外姉妹・友好都市とのつながりを多くの市民に築いてもらうため、ホームページやパンフレットにおいて各都市の情報を発信するだけでなく、国際的な意識や考えを変えてもらうなどきっかけを創出する取り組みが必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	交流事業実施による累計派遣・来松者数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	4,000	4,260	4,520	4,780	5,040
実績値	3,994	4,642	4,710	4,772	
達成度	99.9%	109.0%	104.2%	99.8%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	5,343	10,519	12,507	4,381	3,500
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,343	10,519	12,507	4,381	3,500
人件費(千円)	14,704	26,137	19,828	18,180	
正規	11,996	22,466	17,969	15,200	
嘱託	2,708	3,670	1,859	2,980	
合計コスト +	20,047	36,656	32,335	22,561	3,500
前年度比	-	182.8%	88.2%	69.8%	-

まつもと暮らし応援課

課長 武井 厚志

事務事業評価票

事務事業名	松本暮らし定住化促進事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本暮らし定住化促進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H18 ~
--------	-------

大都市圏(首都圏・中京圏・関西圏)をはじめとする、都会からの移住定住を促進するため、松本市の魅力発信するとともに、移住希望者の相談・受入体制の充実を図るものです。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 実施内容	<p>移住セミナーの開催 都市部にて松本市単独及び長野県、他市と連携した移住セミナーを開催(7回開催、参加者214人、138組) 転職支援会社と連携して、転職セミナー・個別相談会を開催(2回開催、参加者43人、34組) NPO法人ふるさと回帰支援センター(東京・有楽町)に、松本市の情報を発信する常設パネルブースを設置(令和元年7月~) 利用されていない教職員住宅を移住希望者に貸付ける、短期限定住宅貸付制度を創設(令和元年7月~) 本市移住者が営むゲストハウスと連携し、移住希望者向けのお試し滞在宿泊プランを造成 松本市の魅力を多角的に紹介し、移住促進事業を始めとしたシティプロモーションに活用するため、「KURA別冊松本」を作成 LINEを活用した移住情報の発信 移住セミナーと連動した移住体験ツアーの実施</p>
2 実績(令和元年度)	<p>移住相談件数 492件 移住者数(行政サポートによる移住、当課把握分) 42世帯67人</p>

< 現状に対する認識 >

1	地方移住が注目される中、数ある移住候補地から松本市が選ばれるための、効果的なシティプロモーションの必要性と重要性
2	移住希望者にとって、「しごと」は移住を決める重要な要素であることから、松本市への就職・転職支援体制を、より一層充実していく必要性

部局名	政策部	課名	まつもと暮らし応援課	課CD	02180000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	311	地域づくりの推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
			松本版総合戦略			新しい働き方・雇用の創出

< 指標の達成状況 >

総合評価	B				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	移住世帯数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	16	16	16	17	35
実績値	14	15	18	42	
達成度	87.5%	93.8%	112.5%	247.1%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	688	945	725	13,151	12,140
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	688	945	725	13,151	
人件費(千円)	5,252	6,907	9,891	18,565	
正規	4,768	6,907	9,891	18,088	
嘱託	485	0	0	477	
合計コスト +	5,940	7,852	10,616	31,716	12,140
前年度比	-	132.2%	135.2%	298.8%	-

事務事業評価票

事務事業名	ふるさとまつもと寄附金推進事業
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	ふるさとまつもと寄附金推進事業費

部局名	政策部	課名	まつもと暮らし応援課	課CD	02180000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み		シティプロモーションで松本の魅力を発信
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		松本製品のブランド化

< 事業の狙い >

事業計画年度

H20 ~

ふるさと納税制度を活用して、松本市の魅力や実施事業をPRすることで、ふるさと寄附金を獲得し、関係・交流・定住人口の増加を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 寄附実績(令和元年度分)
件数 647件
金額 14,633,005円
- 取組内容
市公式HPやふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」における寄附募集返礼品には市特産品や伝統工芸品を設定
誘客に繋げるため、市公共施設利用券を返礼品に設定するとともに、観光パンフレットや広報まつもと等を、返礼品に添えて送付
寄附者がより寄附しやすくなるよう、寄附金の使途(使いみち)について、具体的な事業名を明示するとともに、寄附金の充当事業を5事業から11事業とする。
- 寄附金活用実績の公表
市公式HPで具体的な寄附金活用事業を公表(平成30年度分)
【岳都】山岳観光施設整備事業(焼岳小屋改築整備) 3,595千円
【楽都】セイジ・オザワ 松本フェスティバル事業 3,460千円
【学都】市特別史跡戸田家廟園保存整備事業 5,630千円
【花いっぱい】美しいまち松本づくり事業 2,370千円
【その他】地域づくりインターンシップ戦略事業 9,550千円

< 現状に対する認識 >

- ふるさと納税制度を活用して、松本市の魅力効果を効果的にPRし、寄附金の確保と有効活用に努める。
- 今後もふるさと納税制度を活用していくためには、国からふるさと納税対象団体の指定を受ける必要があるため、引き続き制度趣旨を尊重した制度運用を図っていく。
- 松本市のシティプロモーションとなり、実際に本市への訪問を促進できる返礼品の開拓について、研究していく。(コト消費、体験等)

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	寄附件数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,041	815	704	647	
達成度	104.1%	81.5%	70.4%	64.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
事業費(千円)	5,542	5,898	5,146	4,293	6,890			
国・県								
利用者負担金								
その他								
一般財源	5,542	5,898	5,146	4,293	6,890			
人件費(千円)	4,919	2,713	4,226	3,381				
正規	3,922	0.51	835	0.11	2,869	0.38	1,444	0.19
嘱託	998	0.35	1,879	0.65	1,357	0.46	1,937	0.65
合計コスト +	10,461	8,611	9,372	7,674	6,890			
前年度比	-	82.3%	108.8%	81.9%	-			

広報課

課長 赤羽 志穂

事務事業評価票

事務事業名	広報業務
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	広報業務費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民の誰もがまちづくりに関心を持ち、主役としてまちづくりに参加できるように、広報まつもと、市ホームページ、ツイッター等SNS及び市政広報番組(テレビ、ラジオ)の内容充実を図り、市政情報の共有化を進める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 印刷媒体
 広報紙「広報まつもと」
 ・巻頭特集の実施 カラー6頁の特集を年4回実施
 ・クイズ&アンケート 広報に対する市民意見聴取(延べ326人)
- 視聴覚媒体
 テレビ市政広報番組
 ・SBC:30分×4本、NBS:30分×2本、abn:30分×2本、TSB:5分×18本
 ・テレビ松本12ch:「広報まつもと」15分×50本(1日2回×平日5日放送)
 テレビ松本、あづみ野テレビ行政チャンネル
 ・定時放送:市政ニュース、広報まつもと等 1日12回
 ・随時放送:記者会見、市議会ライブ中継等
 ラジオ市政広報番組
 ・SBC:1分×156本(1日2回×平日5日放送)
 ・FM長野:5分×28本(第1、3、5土曜日放送)
 ・FMまつもと:15分×51本(週2回放送)
- インターネット
 松本市ホームページ(平成9年開設 平成29年4月リニューアル)
 松本市公式SNS (H23~Twitter、H30~Facebook、Instagram、LINE)
 YouTubeチャンネル
- パブリシティ活動
 市長定例記者会見
 報道機関等への資料提供

< 現状に対する認識 >

各課の更新頻度や内容の精査など、運用する職員の更なる意識向上が必要。
 令和4年4月のホームページ作成システム更新に向け現状の課題を各課と連携し、改善できることから着手する。

部局名	政策部	課名	広報課	課CD	02280000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	904	松本の魅力発信力の強化

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市ホームページのアクセス数				
指標の設定理由	研修等の成果を踏まえた情報発信による成果を測定できるため				
目標値	12,000,000	15,500,000	16,000,000	16,500,000	17,000,000
実績値	13,681,113	15,475,115	15,827,415	17,696,233	
達成度	114.0%	99.8%	98.9%	107.2%	-
成果指標(指標名)	市ツイッターの利用者数(フォロワー数)				
指標の設定理由	研修等の成果を踏まえた情報発信による成果を測定できるため				
目標値	15,000	16,250	17,500	18,750	20,000
実績値	14,800	16,340	17,650	20,288	
達成度	98.7%	100.6%	100.9%	108.2%	0.0%

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	74,575	89,040	88,869	91,574	95,730
国・県					
利用者負担金					
その他	6,041	7,114	7,450	2,756	3,000
一般財源	68,534	81,926	81,419	88,818	92,730
人件費(千円)	47,000	43,730	43,650	43,960	
正規	38,450	5	37,950	5	38,000
嘱託	8,550	3	5,780	2	5,960
合計コスト +	121,575	132,770	132,519	135,534	95,730
前年度比	-	109.2%	99.8%	102.3%	-

中核市推進室

次長 徳永 剣

事務事業評価票

事務事業名	中核市移行事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	中核市移行事業費

部局名	政策部	課名	中核市推進室	課CD	02500000
-----	-----	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	10 意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
主な取組み		中核市、連携中枢都市の研究
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28 ~

中核市への移行により、自立した主体的な行政運営の強化を図り、更なる市民サービスの向上を目指す。
 また、松本地域の20年、30年先の将来を見据え、各市村のみでは対応できない広域的な課題の解決のためには、松本市がリーダー的役割を担い、松本地域の活性化を目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 国との移行手続きに向けた調整や、県との移譲事務の調整等を実施
 総務省との事前協議(中核市移行準備調査票の提出及びヒアリング R2.1.31)
 移譲事務の数 2,503(法律・政令:1,800、補助要綱関連:153、県単独事業550)
 ・県職員による移譲事務に関するガイダンスの開催(3日間)
 (県健康福祉部から移譲される事務)
 県知事に中核市の指定申出への同意申入れ(3.12)
- 移譲事務の引継ぎ方法や、保健所の設置方法を学ぶため、中核市先行市に視察研修を実施
 ・視察先:大阪府豊中市、茨城県水戸市
- 人材育成
 H31.4月から室長として県からの公衆衛生医師の派遣の受入れを開始
 県及び長野市へ、事務職1名、保健師2名、薬剤師3名、獣医師4名の派遣研修を実施
- 市民周知
 出前講座を実施
 ・出前講座(白板、田川、鎌田、中山、神林、寿台、島立)計7回開催(116人参加)
 広報まつもとに記事連載(11回、9月号は未掲載)
 FMまつもと出演(1回)、テレビ松本文字放送(9月から開始)
 横断幕の設置及びデジタルサイネージの活用(市役所東庁舎ロビー)
 公用封筒印刷(印刷文:令和3年4月1日の中核市移行を目指しています)

< 現状に対する認識 >

・県と更なる連携のうえ、移譲事務の引継ぎを計画的かつ具体的に進める必要がある。
 ・中核市移行による市民サービスのメリットなど、市民の理解を深めるため、引き続き広報媒体を活用し、丁寧な説明をする必要がある。
 ・人材の確保について、特に獣医師の採用が困難であるため、通年採用や幅広く周知することなどの取組みが必要。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	80		380		425		620		2,260	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	80		380		460		640		2,260	
人件費(千円)	15,380	人工	25,660	人工	33,150	人工	59,980	人工		人工
正規	15,380	2	22,770	3	30,200	4	57,000	7.5		
嘱託	0	0	2,890	1	2,950	1	2,980	1		
合計コスト +	15,460		26,040		33,575		60,600		2,260	
前年度比	-		168.4%		128.9%		180.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	保健所整備事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	保健所整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R元 ~

令和3年4月1日の中核市移行に伴い、保健所を設置し、「健康寿命延伸都市・松本」の更なる推進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 保健所改修工事に係る実施設計 保健所事務所 相談室・診察室等 犬猫舎
2 経過 H30. 8 県知事が松本市の県松本合同庁舎の賃貸借について了承 11 借用場所及び面積について松本地域振興局と協議開始 31. 4 借用場所及び面積を決定。犬猫舎の共用使用を決定 R 1. 6 保健所改修工事基本設計が完了 2. 3 保健所改修工事実施設計が完了

< 現状に対する認識 >

・令和3年4月1日の保健所開所に向け、昨年度以上にスケジュール感を意識し、事務引継ぎ、例規の整備及び組織体制の構築等を進めることが必要
・改修工事に当たっては、現場でのコロナウイルス感染防止対策を徹底し、令和2年11月の竣工を目指す。
・市保健所での円滑な事務実施のため、引き続き県及び関係団体等と綿密な調整が必要

部局名	政策部	課名	中核市推進室	課CD	0250000
-----	-----	----	--------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	10 意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
主な取組み		中核市、連携中枢都市の研究
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				3,630	206,350
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源				3,630	206,350
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				3,845	0.5
嘱託				0	0
合計コスト +				7,475	206,350
前年度比				-	-